



## 守りたい、伝えたい、 あるがままの支笏湖の魅力

【さとう すすむ さん】 支笏湖温泉 / 68歳

●支笏湖西部の美笛出身。支笏湖温泉で育ち、現在は支笏湖郵便局に勤務。地元の生活で培った経験と知識を活かし、支笏湖パークボランティアとしてふるさと支笏湖の自然を守り、伝える活動に取り組んでいる。

# 湖

から立ちのぼる霧につつまれた幻想的な景色、森から聞こえる鳥や虫の鳴き声、自生する可れんな草花：支笏湖の魅力は、都会にはない大自然。支笏湖パークボランティアで活躍する佐藤さんは、その魅力を「完全ではない、荒けずりな姿」と表現します。

支笏湖パークボランティアは、散策路の清掃や雑草の抜き取りなどの美化活動、自然観察会の開催などとおして、支笏湖の自然を守り、訪れる方にその魅力を伝える活動に取り組んでいます。

41人の会員のうち、支笏湖地区に住むのは佐藤さんひとり。自分が生まれ育った支笏湖で、何か手伝えることは

ないかと思ひ、活動に参加するようになったそうです。

活動は体力勝負。「繁殖力の強い外来植物のオオハンゴンソウは、放っておくと一面に広がってしまうため、定期的に抜き取る必要があります。根から引き抜く作業は大変な重労働です。このような活動にたくさんの方が集まることに感謝しています」と話します。活動の成果で外来植物の広がりには抑えられていますが、課題はたくさんあります。

支笏湖郵便局に勤めている佐藤さん。配達るときに、捨てられているごみが目につくと言います。

「たくさんの方が通る散策路などはきれいに掃除されていますが、人目に

つきにくいところや少し奥に入ったところには不法投棄されたごみがたくさんあります。訪れた方に汚い姿は見せたくありません」と話します。

捨てられたごみを目当てにカラスや野生動物が集まります。ごみが湖や川に流れると、きれいな水が汚されてしまいます。

残念なことに、野草などが根こそぎ掘りおこされて無くなっていることもあるそうです。

「支笏湖の自然はみんなのもの。今の自然の美しさ、この場所にあることの大切さを伝えるため、これからも活動を続けていきたいです」と、穏やかに、ふるさとへの熱い思いを語ってくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



# 佐藤

SUSUMU  
SATO

# 進

さん